



平成 29 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
(JASDAQ・コード番号：2777)
問合せ先 取締役 執行役員管理部長 小林 要介
電 話 03-6439-1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,500	700	640	460	121.23
今回発表予想(B)	10,107	465	466	43	11.58
増減額(B)－(A)	△393	△235	△174	△417	
増減率(%)	△3.7	△33.6	△27.2	△90.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	10,027	469	483	412	108.72

修正の理由

1. 売上高

カッシーナ・イクスシーの法人営業部門の受注金額が予想を大きく下回る見込みであること、および連結子会社であるコンランショップ・ジャパンの基幹店舗（新宿本店、丸の内店）の売上が予想を大きく下回る見込みであることを主な要因として、売上高が前回発表予想を下回る結果となる見込みです。

2. 営業利益

カッシーナ・イクスシーは売上が予想を下回る一方で、粗利率の改善、販売費及び一般管理費の抑制により、ほぼ予想通りの営業利益を計上することができましたが、連結子会社であるコンランショップ・ジャパンが売上高、粗利率ともに大きく予想を下回る結果となり、黒字転換させることができなかったことが大きく響き、前回発表予想を下回る結果となる見込みです。

3. 経常利益

営業利益欄で説明している理由により、経常利益が前回発表予想を下回る結果となる見込みです。

4. 親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 特別損失

① 減損損失の発生

連結子会社であるコンランショップ・ジャパンにおいて、収益性の低下が見込まれる有形固定資産及び無形固定資産について、減損損失 78 百万円を特別損失に計上いたします。

② 新規店舗出店中止に伴う違約金

連結子会社であるコンランショップ・ジャパンにおいて、平成 29 年 4 月に新規出店をするため準備をしておりましたが、既存店舗の黒字化計画が遅れている状況を勘案した結果、出店を中止することといたしました。この結果、契約に基づく違約金等 62 百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 法人税等

親会社及び連結子会社各社の課税所得の構成が、予想と比べて変動したため、税金等調整前当期純利益に対する法人税等の金額が増加する見込みです。

以上を主な要因として、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る結果となる見込みです。

5. 連結子会社エスエムダブリュ・ジャパンの影響

連結子会社であるエスエムダブリュ・ジャパンの業績は、事業を開始した平成 28 年 11 月から 12 月の 2 ヶ月分のみを連結決算の対象としているため、同社の売上高および各段階利益が連結決算に与える影響は小さく、予想修正の要因にはなっておりません。

6. 配当の予想

平成 28 年 12 月期の配当金の予想（1 株につき配当金 30 円）につきましては変更ありません。

その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上